

年 組 名前：

ダビンチXの操作を体験する医師ら—山梨・山梨厚生病院

峡東

穴山菜津美
土屋真佑子

手術支援ロボ導入

山梨厚生病院 峡東地域で初



同院によると、ダビンチXは鉗子などがついたアームと内視鏡を患者の腹部に差し込み、医師がモニターを通して高解像度3D映像で患部を確認しながら、コントローラーでアームを

遠隔操作する。手ぶれが少なく手術器具の可動域が広がることで精密な操作が可能になるほか、従来より小さい傷で出血量も少ないため、患者への負担軽減や術後の早期回復が期待できるという。

18日は同院で体験会があり、医師10人が参加。トレーニングキットを使って、直径1センチ以下の輪ゴムをつかんだり、糸を穴に通したりする操作を体験した。

同院はダビンチXを使用した前立腺がんの手術を3月に初めて行うほか、ロボット手術専門の外来を設置し、相談体制を強化する。泌尿器科の中込宙史部長は「なじみのある病院でロボット手術が受けられることで、精神的な負担も軽減できれば」と話している。



QRコード
から動画を
見られます

〈穴山菜津美〉

(2024年2月29日付 山梨日日新聞 16面)

問1

山梨市の病院が導入した手術支援ロボットの名称を教えてください。

.....

問2

手術支援ロボットを使うことでの、患者のメリットを教えてください。

.....

問3

体験会では、どのような操作を体験しましたか。

.....

.....